エリーパワー株式会社

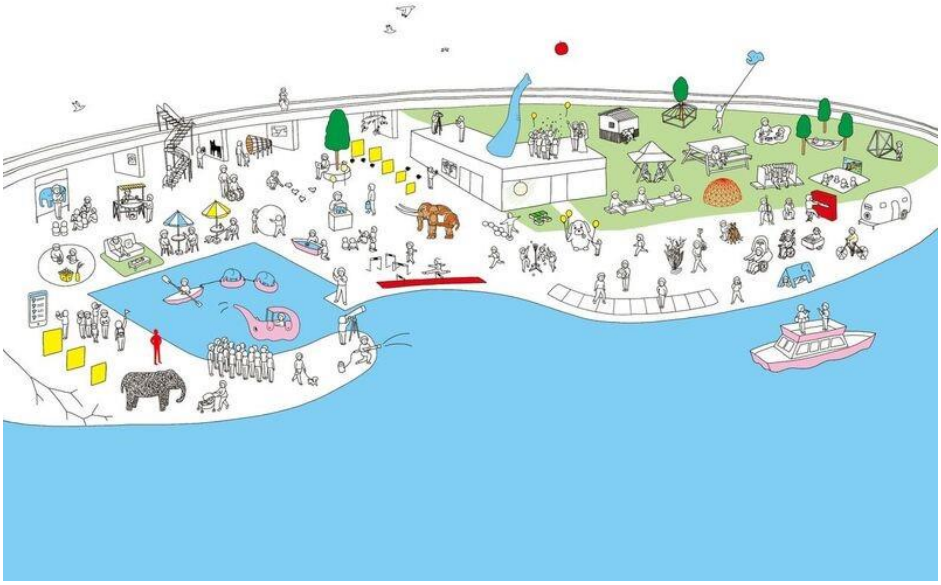
2019 年 6 月 5 日

象の鼻テラス開館 10 周年記念企画
「フューチャースケープ・プロジェクト」に協賛

公園で仕事をする社会実験等に、可搬型蓄電システムから電力を供給

エリーパワー株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：吉田博一）は、2019 年 6 月で 10 周年を迎える、象の鼻パーク・象の鼻テラスで開催される「フューチャースケープ・プロジェクト」(2019 年 6 月 7 日(金)～6 月 16 日(日)) に、可搬型蓄電システムの機材協力をおこないます。

展示されるアート作品への電力供給のほか、独立行政法人都市再生機構（ＵＲ都市機構）が提案企画する、公園で仕事をする社会実験「Ｗｏｒｋ－ｉｎｇ Ｐａｒｋ ！～会社員編～」や、横浜市立大学鈴木伸治研究室+イクタケマコトが提案企画する「あおぞらリビング」と協力し、仕事に使うパソコンやスマートフォンの充電ができる環境を提供します。また、来場者向けの携帯充電サービススポットも、象の鼻テラス内の会場に設置されます。



○可搬型蓄電システム 「POWER YIILE 3」/「POWER YIILE PLUS」
蓄電容量 2.5kWh
http://eliiypower.co.jp/products/general/py3.html
※POWER YIILE PLUS は生産終了製品です。

○ポータブル蓄電システム「ELIIY ONE（エリーワン)」

［参考］

■象の鼻テラス開館 10 周年記念企画「フューチャースケープ・プロジェクト」

1859 年に横浜港が開港し、諸外国との活発な交易がスタートした「象の鼻地区」は、開港 150 周年記念事業により、2009 年に市民のための広場「象の鼻パーク」に生まれ変わりました。その中にアートスペースを兼ね備えたレストハウス（休憩所）として建てられたのが「象の鼻テラス」です。
2019 年 6 月 2 日、象の鼻パーク・象の鼻テラスは 10 周年を迎えます。「フューチャースケープ・プロジェクト」は、この場所がさらに居心地よく快適な空間になることを目指し、アートにできることを模索する実験的なプロジェクトです。1 年後・10 年後・100 年後の未来の風景を想像して生まれた、ひとりひとりのクリエイティブなアイデアの形が象の鼻パークに現れます。

概要　：象の鼻テラス開館 10 周年記念展「フューチャースケープ・プロジェクト」
https://www.10thzounohana.yokohama/
日程　：2019 年 6 月 7 日（金）- 6 月 16 日（日）[10 日間] 11:00-20:00
※プログラムにより時間を変更する場合があります
会場　：象の鼻パーク・象の鼻テラス
主催　：象の鼻テラス
共催　：横浜市

■ＵＲ都市機構提案企画「Ｗｏｒｋ－ｉｎｇ　Ｐａｒｋ　！～会社員編～」

ＵＲ都市機構が実施する、公園で仕事をすることにより、公園に”新たな機能”が生まれることを期待し、公園にイスやテーブルを持ち込み、公園で仕事をする社会実験です。
https://www.ur-net.go.jp/news/lrmhph000000xnqi-att/ur2019_press_0604_zounohana.pdf

日程　：2019 年 6 月 11 日（火）11:00～17：00　※雨天時は 6 月 12 日（水）に延期

「安心なくらしと、人と社会のために。」
エリーパワーは 2006 年の創業以来、安全性を最優先に技術開発及び製品開発を行ってまいりました。今後も世界のエネルギー問題、環境問題を解決するため、エネルギーを貯蔵して活用するシステムを普及させようという理念のもと、リチウムイオン電池及び蓄電システムの開発と普及に取り組んでまいります。

◆お問合せ先
エリーパワー株式会社　広報部
〒141-0032　東京都品川区大崎 1-6-4　新大崎勧業ビルディング 19 階（大崎ニューシティ 4 号館）
TEL：03-6431-9047（広報部直通）